

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
論理国語	2	3	普通科両コース共通	必修

科目の目標	<p>言葉による見方考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b> 論理国語(大修館)</p> <p><b>副教材</b> 言語文化(筑摩)、精選 古典探究(大修館)、新課程対応版 LT 現代文2(浜島)、書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン(桐原)、書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン 書き取り演習ノート(桐原)、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧(大修館)、現代文 キーワード読解 [改訂版] (Z会)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画 (予定)

時期	No.	単元名	教材	
4-6月 (前期中間 考査まで)	1	自己と他者	「贈り物」としてのノブレスオブリージュ (内田樹)	評論
	2	コミュニケーション の手段	記号的メディアと物理的メディア(伊藤亜紗)、または ネットワーク上のコミュニケーション (江下雅之)	評論
6-9月 (前期末考 査まで)	3	メディアの変容	消費されるスポーツ (多木浩二)、仮説を立てて検証する	評論・グラフ資料
	4	思想 (師弟・本性)	賢哉回也 (論語)、聞斯行諸 (論語)、不忍人之心 (孟子)、人之性悪 (荀子)	評論(漢文)
	5	政治と社会	「である」ことと「する」こと (丸山眞男)	評論
10-12月 (後期中間 考査まで)	6	言語の探究	猫は後悔するか (野矢茂樹)、または 人を指す言葉 (鈴木孝夫)	評論
	7	存在への問い	日常に走る亀裂 (鷺田清一)	評論
12-1月 (学年末考 査まで)	8	歴史と時間	日本文化の三つの時間 (加藤周一)、または 無常ということ (小林秀雄)	評論

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
論説国語	2	3	アカデミア科両コース共通	必修

科目の目標	<p>アカデミックな見方考え方を働かせ、言語活動を通して、日本語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b> 論理国語(大修館)</p> <p><b>副教材</b> 言語文化(筑摩)、精選 古典探究(大修館)、新課程対応版 LT 現代文2(浜島)、書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン(桐原)、書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン 書き取り演習ノート(桐原)、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧(大修館)、現代文 キーワード読解 [改訂版] (Z会)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画 (予定)

時期	No.	単元名	教材	
4-6月 (前期中間 考査まで)	1	自己と他者	「贈り物」としてのノブレスオブリージュ (内田樹)	評論
	2	コミュニケーション の手段	記号的メディアと物理的メディア(伊藤亜紗)、または ネットワーク上のコミュニケーション (江下雅之)	評論
6-9月 (前期末考 査まで)	3	メディアの変容	消費されるスポーツ (多木浩二)、仮説を立てて検証する	評論・グラフ資料
	4	思想 (師弟・本性)	賢哉回也 (論語)、聞斯行諸 (論語)、不忍人之心 (孟子)、人之性悪 (荀子)	評論(漢文)
	5	政治と社会	「である」ことと「する」こと (丸山眞男)	評論
10-12月 (後期中間 考査まで)	6	言語の探究	猫は後悔するか (野矢茂樹)、または 人を指す言葉 (鈴木孝夫)	評論
	7	存在への問い	日常に走る亀裂 (鷲田清一)	評論
12-1月 (学年末考 査まで)	8	歴史と時間	日本文化の三つの時間 (加藤周一)、または 無常ということ (小林秀雄)	評論

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
文学総合	4	3	普通科人文・社会科学コース	必修

科目の目標	<p>言葉による見方考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的、創造的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b> 文学国語(数研)、精選 古典探究(大修館)</p> <p><b>副教材</b> 新訂版 正しく読み・解くための 力をつける古典 ステップ2.5(数研)、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧(大修館)、読解を大切にする 体系古典文法 学習ノート 三訂版(数研)、九訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法(数研)、三訂版 体系漢文(数研)、改訂版 体系漢文準拠ノート(数研)、読んで見て聞いて覚える重要古典単語315 四訂版(桐原)、改訂版 流れと演習 新日本文学史(啓隆社)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画 (予定)

時期	No.	単元名	教材
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	古文/随筆	二月つごもりごろに(枕草子・清少納言)など
	2	漢文/小説	定伯売鬼(搜神記・干宝)
	3	現代文/大正の小説	檸檬(梶井基次郎)
6～9月 (前期末考査 まで)	4	古文/物語(一)	花山院の出家、鶯宿梅(大鏡)など
	5	漢文/漢詩	桂林荘雜詠(広瀬淡窓)、将東遊題壁(月性)など
	6	現代文/明治の小説	舞姫(森鷗外)
10～12月 (後期中間 考査まで)	7	古文/物語(二)	葵の上と物の怪(源氏物語・紫式部)など
	8	漢文/史伝	荊軻(史記・司馬遷)
12～1月 (学年末考査 まで)	9	古文/日記	町の小路の女(蜻蛉日記・藤原道綱母)、薫る香に(和泉式部日記・和泉式部)など
	10	現代文/詩歌	短歌・俳句

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
文学総合	2	3	普通科自然科学コース	必修

科目の目標	<p>言葉による見方考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的、創造的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b> 文学国語(数研)、精選 古典探究(大修館)</p> <p><b>副教材</b> 新訂版 正しく読み・解くための 力をつける古典 ステップ2.5(数研)、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧(大修館)、読解を大切にする 体系古典文法 学習ノート 三訂版(数研)、九訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法(数研)、三訂版 体系漢文(数研)、改訂版 体系漢文準拠ノート(数研)、読んで見て聞いて覚える重要古典単語315 四訂版(桐原)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画 (予定)

時期	No.	単元名	教材
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	古文/随筆	二月つごもりごろに(枕草子・清少納言)など
	2	漢文/漢詩	桂林荘雑詠(広瀬淡窓)、将東遊題壁(月性)など
	3	現代文/大正の小説	檸檬(梶井基次郎)
6～9月 (前期末考査 まで)	4	古文/物語(一)	花山院の出家、鶯宿梅(大鏡)など
	5	現代文/明治の小説	舞姫(森鷗外)
10～12月 (後期中間 考査まで)	6	漢文/史伝	荊軻(史記・司馬遷)
	7	古文/物語(二)	葵の上と物の怪(源氏物語・紫式部)など
12～1月 (学年末考査 まで)	8	古文/日記	町の小路の女(蜻蛉日記・藤原道綱母)など

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
文学総合研究	4	3	アカデミア科 人文・社会科学コース	必修

科目の目標	<p>アカデミックな見方考え方を働かせ、言語活動を通して、日本語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的、創造的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b> 文学国語(数研)、精選 古典探究(大修館)</p> <p><b>副教材</b> 新訂版 正しく読み・解くための 力をつける古典 ステップ2.5(数研)、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧(大修館)、読解を大切にする 体系古典文法 学習ノート 三訂版(数研)、九訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法(数研)、三訂版 体系漢文(数研)、改訂版 体系漢文準拠ノート(数研)、読んで見て聞いて覚える重要古典単語315 四訂版(桐原)、改訂版 流れと演習 新日本文学史(啓隆社)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画 (予定)

時期	No.	単元名	教材
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	古文/随筆	二月つごもりごろに(枕草子・清少納言)など
	2	漢文/小説	定伯売鬼(搜神記・干宝)
	3	現代文/大正の小説	檸檬(梶井基次郎)
6～9月 (前期末考査 まで)	4	古文/物語(一)	花山院の出家、鶯宿梅(大鏡)など
	5	漢文/漢詩	桂林荘雑詠(広瀬淡窓)、将東遊題壁(月性)など
	6	現代文/明治の小説	舞姫(森鷗外)
10～12月 (後期中間 考査まで)	7	古文/物語(二)	葵の上と物の怪(源氏物語・紫式部)など
	8	漢文/史伝	荊軻(史記・司馬遷)
12～1月 (学年末考査 まで)	9	古文/日記	町の小路の女(蜻蛉日記・藤原道綱母)、薫る香に(和泉式部日記・和泉式部)など
	10	現代文/詩歌	短歌・俳句

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
文学総合研究	2	3	アカデミア科 自然科学コース	必修

科目の目標	<p>アカデミックな見方考え方を働かせ、言語活動を通して、日本語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的、創造的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p><b>教科書</b>文学国語(数研)、精選 古典探究(大修館)</p> <p><b>副教材</b>新訂版 正しく読み・解くための 力をつける古典 ステップ 2.5(数研)、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧(大修館)、読解を大切にする 体系古典文法 学習ノート 三訂版(数研)、九訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法(数研)、三訂版 体系漢文(数研)、改訂版 体系漢文準拠ノート(数研)、読んで見て聞いて覚える重要古典単語315 四訂版(桐原)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○
小テスト・課題テスト	○		
課題の提出と修正	○		○

指導計画 (予定)

時期	No.	単元名	教材
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	古文/随筆	二月つごもりごろに(枕草子・清少納言)など
	2	漢文/漢詩	桂林荘雑詠(広瀬淡窓)、将東遊題壁(月性)など
	3	現代文/大正の小説	檸檬(梶井基次郎)
6～9月 (前期末考査 まで)	4	古文/物語(一)	花山院の出家、鶯宿梅(大鏡)など
	5	現代文/明治の小説	舞姫(森鷗外)
10～12月 (後期中間 考査まで)	6	漢文/史伝	荊軻(史記・司馬遷)
	7	古文/物語(二)	葵の上と物の怪(源氏物語・紫式部)など
12～1月 (学年末考査 まで)	8	古文/日記	町の小路の女(蜻蛉日記・藤原道綱母)など

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
国語演習	2	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的、創造的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教材	四訂版プログレス現代文総演習・発展編(いいずな書店)、改訂版プログレス古文総演習・発展編(いいずな書店) ほか
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
提出課題	○	○	○
振り返りシート			○

指導計画 (予定)

時期	No.	単元名	内容
4～6月 (前期中間考査まで)	1	演習初級	生徒の進路志望を踏まえて、比較的平易な文章を取扱い、問いを通して読解力を養う。
6～9月 (前期末考査まで)	2	演習中級	生徒の進路志望を踏まえて、様々な難度の文章を取扱い、問いを通して読解力を育む。
10～12月 (後期中間考査まで)	3	演習上級	生徒の進路志望を踏まえて、比較的硬質な文章を取扱い、問いを通して読解力を伸ばす。
12～1月 (学年末考査まで)	4	総仕上げ	生徒の進路志望に応じた、読むことに関する様々な実践的活動を行い、読解力を鍛える。

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
日本史探究	4	3	普通科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	<p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	<p>教科書『日本史探究』(実教出版)</p> <p>図説『図説日本史通覧』(帝国書院)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
振り返りシート		○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		【第3部】近世の日本と世界
	5	遠足・実力テスト	第2章 幕藩体制の成立と展開 第3章 近世の国家・社会の変容
	6	前期中間考査・球技大会	【第4部】近現代の地域・日本と世界
	7	実力テスト・夏季進学補習	第1章 開国から討幕へ 第2章 明治維新
	8		第3章 近代国家の形成
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	第4章 両大戦間の日本
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	第5章 十五年戦争と日本
	11		第6章 戦後日本の形成
	12	後期中間考査・冬季進学補習	第7章 グローバル化のなかの現代日本 問題演習
	1	学年末考査	問題演習
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
日本史研究	4	3	アカデミア科 人文・社会科学コース	選択

科目の目標	<p>・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	<p>教科書『日本史探究』(実教出版)</p> <p>図説『図説日本史通覧』(帝国書院)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
振り返りシート		○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		【第3部】近世の日本と世界
	5	遠足・実力テスト	第2章 幕藩体制の成立と展開 第3章 近世の国家・社会の変容
	6	前期中間考査・球技大会	【第4部】近現代の地域・日本と世界
	7	実力テスト・夏季進学補習	第1章 開国から討幕へ 第2章 明治維新
	8		第3章 近代国家の形成
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	第4章 両大戦間の日本
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	第5章 十五年戦争と日本
	11		第6章 戦後日本の形成
	12	後期中間考査・冬季進学補習	第7章 グローバル化のなかの現代日本 問題演習
	1	学年末考査	問題演習
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
世界史探究	4	3	普通科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	<p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。(知識・技能)</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、そうごの関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考・判断・表現)</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	<p>教科書『詳説世界史』(山川出版社)</p> <p>図説『最新世界史図説 タペストリー』(帝国書院)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
授業内課題		○	○
小テスト(単元毎)	○		

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		第11章 近世ヨーロッパ世界の動向
	5	遠足・実力テスト	第12章 産業革命と環大西洋革命
	6	前期中間考査・球技大会	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成
	7	実力テスト・夏季進学補習	第14章 アジア諸地域の動揺
	8		第15章 帝国主義とアジアの民族運動
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	第16章 第一次世界大戦と世界の変容
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成
	11		第18章 冷戦と第三世界の台頭
	12	後期中間考査・冬季進学補習	第19章 冷戦の終結と今日の世界
	1	学年末考査	問題演習
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
世界史研究	4	3	アカデミア科 人文・社会科学コース	選択

科目の目標	<p>(1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。(知識・技能)</p> <p>(2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、そうごの関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考・判断・表現)</p> <p>(3)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	教科書『詳説世界史』(山川出版社) 図説『最新世界史図説 タペストリー』(帝国書院)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
授業内課題		○	○
小テスト(単元毎)	○		

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		第11章 近世ヨーロッパ世界の動向
	5	遠足・実力テスト	第12章 産業革命と環大西洋革命
	6	前期中間考査・球技大会	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成
	7	実力テスト・夏季進学補習	第14章 アジア諸地域の動揺
	8		第15章 帝国主義とアジアの民族運動
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	第16章 第一次世界大戦と世界の変容
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成
	11		第18章 冷戦と第三世界の台頭
	12	後期中間考査・冬季進学補習	第19章 冷戦の終結と今日の世界
	1	学年末考査	問題演習
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
地理探究	4	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。(知識・技能)</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然の相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力、人間性等)</p>
使用教材	<p>教科書『新詳地理探究』(帝国書院)、『新詳高等地図』(帝国書院)</p> <p>副教材『新詳地理資料 COMPLETE 2025』(帝国書院)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		【第1部 現代世界の系統地理的考察】
	5	遠足・実力テスト	第1章 自然環境
	6	前期中間考査・球技大会	第2章 資源と産業
	7	実力テスト・夏季進学補習	第3章 交通・通信と観光, 貿易
	8		第4章 人口, 村落・都市*
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	第5章 生活文化, 民族・宗教*
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	【第2部 現代世界の地誌的考察】
	11		第1章 現代世界の地域区分
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	【第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像】
	2		第1章 持続可能な国土像の探究
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
地理探究	3	3	両学科自然科学コース	選択

科目の目標	<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。(知識・技能)</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然の相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。(学びに向かう力、人間性等)</p>
使用教材	<p>教科書『新詳地理探究』(帝国書院)、『新詳高等地図』(帝国書院)</p> <p>副教材『新詳地理資料 COMPLETE 2025』(帝国書院)</p>
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
パフォーマンス課題		○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		【第1部 現代世界の系統地理的考察】
	5	遠足・実力テスト	第1章 自然環境
	6	前期中間考査・球技大会	第2章 資源と産業
	7	実力テスト・夏季進学補習	第3章 交通・通信と観光、貿易
	8		第4章 人口、村落・都市*
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	第5章 生活文化、民族・宗教*
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	【第2部 現代世界の地誌的考察】
	11		第1章 現代世界の地域区分
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	【第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像】
	2		第1章 持続可能な国土像の探究
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (公民科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
倫理	4	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	<p>(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</p> <p>(3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</p>
使用教材	教科書『倫理』(数研出版社)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
課題		○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第1章 さまざまな人間の心のあり方
	5	遠足・実力テスト	第2章 さまざまな人生観 ー源流思想ー
	6	前期中間考査・球技大会	第3章 さまざまな倫理観・世界観 ー西洋近現代思想ー
	7	実力テスト・夏季進学補習	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第3章 さまざまな倫理観・世界観 ー西洋近現代思想ー
	8		
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第4章 さまざまな倫理観・世界観 ー日本の思想ー
	11		第2編 現代の諸課題と倫理
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	第2編 現代の諸課題と倫理
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (公民科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
倫理	3	3	両学科自然科学コース	選択

科目の目標	<p>(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。</p> <p>(3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</p>
使用教材	教科書『倫理』(数研出版社)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
課題		○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第1章 さまざまな人間の心のあり方
	5	遠足・実力テスト	第2章 さまざまな人生観 ー源流思想ー
	6	前期中間考査・球技大会	第3章 さまざまな倫理観・世界観 ー西洋近現代思想ー
	7	実力テスト・夏季進学補習	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第3章 さまざまな倫理観・世界観 ー西洋近現代思想ー
	8		
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第4章 さまざまな倫理観・世界観 ー日本の思想ー
	11		第2編 現代の諸課題と倫理
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	第2編 現代の諸課題と倫理
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (公民科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
政治・経済	4	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	学習全体を通じて1年次で学習した「公共」との関連を図り、学習を通じて広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
使用教材	教科書『政治・経済』（東京書籍） 資料集『最新図説政経』（浜島書店）
定期考査の実施	前期中間（○） 前期末（○） 後期中間（○） 学年末（×）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
授業内課題		○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治
	5	遠足・実力テスト	1節 民主政治の基本原理
	6	前期中間考査・球技大会	2節 日本国憲法の基本原理 3節 日本の政治機構
	7	実力テスト・夏季進学補習	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治
	8		4節 現代政治の特質と課題
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	第1編 現代日本の政治と経済 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と現状
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	第1編 現代日本の政治と経済 第2章 現代日本の経済 4節 福祉社会と日本経済の課題
	11		第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ 2節 複雑化する国際政治と日本
			第2編 グローバル化する国際社会 第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題
			第2編 グローバル化する国際社会 第3章 国際社会の諸課題
	12	後期中間考査・冬季進学補習	問題演習
	1	学年末考査	
2			
3			

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (公民科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
政治・経済	3	3	両学科自然科学コース	選択

科目の目標	学習全体を通じて1年次で学習した「公共」との関連を図り、学習を通じて広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
使用教材	教科書『政治・経済』（東京書籍） 資料集『最新図説政経』（浜島書店）
定期考査の実施	前期中間（○） 前期末（○） 後期中間（○） 学年末（×）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
授業内課題		○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治
	5	遠足・実力テスト	1節 民主政治の基本原理
	6	前期中間考査・球技大会	2節 日本国憲法の基本原理 3節 日本の政治機構
	7	実力テスト・夏季進学補習	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治
	8		4節 現代政治の特質と課題
	9	文化祭・校内模試・前期末考査	第1編 現代日本の政治と経済 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と現状
後期	10	秋季休業・校内模試・体育祭	第1編 現代日本の政治と経済 第2章 現代日本の経済 4節 福祉社会と日本経済の課題
	11		第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ 2節 複雑化する国際政治と日本
			第2編 グローバル化する国際社会 第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題
			第2編 グローバル化する国際社会 第3章 国際社会の諸課題
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	
	2		
3			

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学演習A	5	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	数学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めて、活用する力をつける。また、大学入学共通テストなどに必要な学力を習得する。
使用教材	大学入学共通テスト対策ニュースタンド数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C受験編(数研出版) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅰ, 数学A(駿台)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		方程式と不等式 集合と論理
	5	遠足・実力テスト	2次関数
	6	前期中間考査・球技大会	平面図形
	7	実力テスト・夏季進学補習	図形と計量
	8		場合の数と確率
	9	文化祭・前期末考査	データの分析
後期	10	秋季休業・体育祭	問題演習
	11		
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学演習B	5	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	数学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めて、活用する力をつける。また、大学入学共通テストなどに必要な学力を習得する。
使用教材	大学入学共通テスト対策ニュースタンド数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C受験編(数研出版) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅰ, 数学A(駿台) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅱ, 数学B, 数学C(駿台)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		方程式と不等式 式と証明・複素数と方程式
	5	遠足・実力テスト	2次関数 三角関数 指数関数・対数関数
	6	前期中間考査・球技大会	微分法と積分法 図形の性質 図形と計量
	7	実力テスト・夏季進学補習	ベクトル 図形と方程式
	8		数列
	9	文化祭・前期末考査	場合の数と確率
後期	10	秋季休業・体育祭	データの分析 統計的な推測
	11		問題演習
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学演習C	5	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	数学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めて、活用する力をつける。また、大学入学共通テストなどに必要な学力を習得する。さらに、国公立大学、難関私立大学の記述試験に対応できる学力を取得する。
使用教材	大学入学共通テスト対策ニュースタンダード数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C受験編(数研出版) クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編(数研出版) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅰ, 数学A(駿台) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅱ, 数学B, 数学C(駿台)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		方程式と不等式 式と証明・複素数と方程式
	5	遠足・実力テスト	2次関数 三角関数 指数関数・対数関数
	6	前期中間考査・球技大会	微分法と積分法 図形の性質 図形と計量
	7	実力テスト・夏季進学補習	ベクトル 図形と方程式
	8		数列
	9	文化祭・前期末考査	場合の数と確率
	後期	10	秋季休業・体育祭
11			問題演習
12		後期中間考査・冬季進学補習	
1		学年末考査	
2			
3			

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学Ⅲ	4	3	普通科自然科学コース	選択

科目の目標	関数、極限、微分法、積分法および複素数平面についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
使用教材	数学Ⅲ(数研出版) 数学C(数研出版) サクシード数学Ⅲ+C(数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版) 大学入学共通テスト対策ニュースタンド数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C受験編(数研出版) クリアー数学演習ⅢC受験編(数研出版) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅰ, 数学A(駿台) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅱ, 数学B, 数学C(駿台)
定期考査の実施	前期中間 ( ◎ )      前期末 ( ○ )      後期中間 ( ○ )      学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		数学Ⅲ第1章 関数
	5	遠足・実力テスト	数学Ⅲ第2章 極限 数学Ⅲ第3章 微分法
	6	前期中間考査・球技大会	数学Ⅲ第4章 微分法の応用
	7	実力テスト・夏季進学補習	数学Ⅲ第5章 積分法 数学Ⅲ第6章 積分法の応用
	8		数学C第3章 複素数平面
	9	文化祭・前期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	問題演習
	11		
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学C	3	3	普通科自然科学コース	選択

科目の目標	関数、極限、微分法、積分法および複素数平面についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
使用教材	数学Ⅲ(数研出版) 数学C(数研出版) サクシード数学Ⅲ+C(数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版) 大学入学共通テスト対策ニュースタダード数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C受験編(数研出版) クリアー数学演習ⅢC受験編(数研出版) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅰ, 数学A(駿台) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅱ, 数学B, 数学C(駿台)
定期考査の実施	前期中間 ( × )    前期末 ( ○ )    後期中間 ( ○ )    学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		数学Ⅲ第1章 関数
	5	遠足・実力テスト	数学Ⅲ第2章 極限 数学Ⅲ第3章 微分法
	6	前期中間考査・球技大会	数学Ⅲ第4章 微分法の応用
	7	実力テスト・夏季進学補習	数学Ⅲ第5章 積分法 数学Ⅲ第6章 積分法の応用
	8		数学C第3章 複素数平面
	9	文化祭・前期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	問題演習
	11		
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学ⅡBC演習	7	3	普通科自然科学コース	選択

科目の目標	数学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めて、活用する力をつける。また、大学入学共通テストなどに必要な学力を習得する。
使用教材	大学入学共通テスト対策ニュースタンド数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C受験編(数研出版) クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編(数研出版) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅰ, 数学A(駿台) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅱ, 数学B, 数学C(駿台)
定期考査の実施	前期中間 ( ◎ ) 前期末 ( ◎ ) 後期中間 ( ◎ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		方程式と不等式 式と証明・複素数と方程式
	5	遠足・実力テスト	2次関数 三角関数 指数関数・対数関数
	6	前期中間考査・球技大会	微分法と積分法 図形の性質 図形と計量
	7	実力テスト・夏季進学補習	ベクトル 図形と方程式
	8		数列
	9	文化祭・前期末考査	場合の数と確率
	後期	10	秋季休業・体育祭
11			問題演習
12		後期中間考査・冬季進学補習	
1		学年末考査	
2			
3			

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学ⅢC研究	7	3	アカデミア科自然科学コース	選択

科目の目標	関数、極限、微分法、積分法および複素数平面についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
使用教材	数学Ⅲ(数研出版) 数学C(数研出版) サクシード数学Ⅲ+C(数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅲ+C(数研出版) 大学入学共通テスト対策ニュースタンド数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C受験編(数研出版) クリアー数学演習ⅢC受験編(数研出版) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅰ, 数学A(駿台) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅱ, 数学B, 数学C(駿台)
定期考査の実施	前期中間 ( ◎ ) 前期末 ( ◎ ) 後期中間 ( ◎ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		数学Ⅲ第1章 関数
	5	遠足・実力テスト	数学Ⅲ第2章 極限 数学Ⅲ第3章 微分法
	6	前期中間考査・球技大会	数学Ⅲ第4章 微分法の応用
	7	実力テスト・夏季進学補習	数学Ⅲ第5章 積分法 数学Ⅲ第6章 積分法の応用
	8		数学C第3章 複素数平面
	9	文化祭・前期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	問題演習
	11		
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学ⅡBC研究	7	3	アカデミア科自然科学コース	選択

科目の目標	数学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めて、活用する力をつける。また、大学入学共通テストなどに必要な学力を習得する。
使用教材	大学入学共通テスト対策ニュースタンド数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C受験編(数研出版) クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編(数研出版) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅰ, 数学A(駿台) 2027 共通テスト実践問題パックⅤ数学Ⅱ, 数学B, 数学C(駿台)
定期考査の実施	前期中間 ( ◎ ) 前期末 ( ◎ ) 後期中間 ( ◎ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		方程式と不等式 式と証明・複素数と方程式
	5	遠足・実力テスト	2次関数 三角関数 指数関数・対数関数
	6	前期中間考査・球技大会	微分法と積分法 図形の性質 図形と計量
	7	実力テスト・夏季進学補習	ベクトル 図形と方程式
	8		数列
	9	文化祭・前期末考査	場合の数と確率
後期	10	秋季休業・体育祭	データの分析 統計的な推測
	11		問題演習
	12	後期中間考査・冬季進学補習	
	1	学年末考査	
	2		
	3		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
物理	5	3	両学科自然科学コース	選択

科目の目標	科学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。 将来にわたり物理学を用いて研究開発などに携われるための基礎的な力を身に着ける。
使用教材	教科書：高等学校 物理（啓林館） 副教材：チャート式物理（数研）、新編アクセス物理（浜島）
定期考査の実施	前期中間（○） 前期末（○） 後期中間（○） 学年末（×）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
ノート、ワークシートの記述	○	○	○
家庭学習課題	○	○	○
授業内小テスト	○		
実験レポート		○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定	
前期	4	春課題確認テスト	第1部 様々な運動	第3章 運動量と力積
	5	遠足		第4章 円運動と単振動 第5章 万有引力
	6	前期中間考査・球技大会	第2部 熱	第1章 気体分子の運動
	7	実力テスト・夏季進学補習	第4部 電気と磁気	第1章 電界と電位 第2章 電流
	8	夏課題確認テスト		第3章 電流と磁界
	9	文化祭・前期期末考査		
後期	10	秋季休業・体育祭		第4章 電磁誘導と電磁波
	11	実力テスト	第5部 原子・分子の世界	第1章 電子と光 第2章 原子・原子核・素粒子
	12	後期中間考査・冬季進学補習	問題演習	終章 物理学が築く未来
	1	大学入学共通テスト 学年末考査	問題演習	
	2			
	3	卒業式		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
化学	4	3	両学科自然科学コース	必修

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。
使用教材	教科書：化学(数研出版) 問題集：2023 新課程 セミナー化学基礎+化学(第一学習社)、サイエンスビュー 新化学資料 新課程対応(実教出版) 2025 共通テスト実践問題 パックV 化学(駿台文庫)
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (○) 学年末 (×)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
ノート、ワークシートの記述	○	○	○
家庭学習課題	○	○	○
授業内小テスト	○		
レポート・パフォーマンス課題		○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	第2編 物質の変化 第4章 化学平衡 第3編 無機物質 第1章 非金属元素
	5	遠足	第2章 金属元素(I) - 典型元素 - 第3章 金属元素(II) - 遷移元素 -
	6	前期中間考査・球技大会	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析
	7	実力テスト・夏季進学補習	第2章 脂肪族炭化水素
	8	夏課題確認テスト	第3章 アルコールと関連化合物
	9	文化祭・前期期末考査	第4章 芳香族化合物
後期	10	秋季休業・体育祭	第5章 高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質
	11	実力テスト	第2章 天然高分子化合物
	12	後期中間考査・冬季進学補習	第3章 合成高分子化合物
	1	学年末考査	問題演習
	2		
	3	卒業式	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
化学基礎演習	2	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	化学基礎で学習した内容の理解を深めるとともに、大学入試共通テストの形式に慣れ実践力をつける。
使用教材	教科書：化学基礎(数研出版) 問題集：チェック&演習 化学基礎(数研出版)、2025 共通テスト実践問題 パックⅤ 化学基礎(駿台文庫)
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( × ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
ノート、ワークシートの記述	○	○	○
家庭学習課題	○	○	○
授業内小テスト	○		
レポート・パフォーマンス課題		○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成
	5	遠足	第2章 物質の構成粒子
	6	前期中間考査・球技大会	第3章 粒子の結合
	7	実力テスト・夏季進学補習	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式
	8	夏課題確認テスト	
	9	文化祭・前期期末考査	第2章 酸と塩基の反応
後期	10	秋季休業・体育祭	第3章 酸化還元反応
	11	実力テスト	
	12	後期中間考査・冬季進学補習	問題演習
	1	学年末考査	
	2		
	3	卒業式	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
生物	5	3	両学科自然科学コース	選択

科目の目標	生物基礎で学習した内容を踏まえ、生物や生命現象に関して、ミクロレベルからマクロレベルまで様々な視点での観察、学習を行い、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究する力、態度を養う。生物の進化の流れを軸に、代謝をはじめ様々な生命現象の存在とその獲得、発生の流れ、環境応答のしくみを理解する。生態系の成り立ちや生物どうしの関わり合いを理解し、生命や自然の保全の重要性について学びを深める。
使用教材	教科書「生物」(数研出版) 問題集「新課程 リードα生物基礎+生物」(数研出版) 問題集「2025 共通テスト実践問題パックⅤ生物」(駿台文庫) 参考書「三訂版 フォトサイエンス 生物図録」(数研出版)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
実験観察レポート		○	○
小テスト 問題演習	○	○	○

指導計画

時期	単元	活動
前期中間	第2編 生命現象と物質 2章 細胞と分子 2節 タンパク質の構造と性質 3節 化学反応にかかわるタンパク質 4節 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質 3章 代謝 1節 代謝とエネルギー 2節 呼吸と発酵 3節 光合成	問題演習 単元小テスト 酵素の酸化還元反応の実験 アルコール発酵の実験 光合成色素の分離実験
	第3編 遺伝情報の発現と発生 4章 遺伝情報の発現と発生 1節 DNAの構造と複製 2節 遺伝情報の発現 3節 遺伝子の発現調整 4節 発生と遺伝子発現 5節 遺伝子を扱う技術	問題演習 単元小テスト PCR実験 ウニの発生の観察
前期末	第4編 生物の環境応答 5章 動物の反応と行動 1節 刺激の受容 2節 ニューロンとその興奮 3節 情報の統合 4節 刺激への反応 5節 動物の行動	ブタの眼の解剖実験 盲班の検出実験 脳の観察実験
	6章 植物の環境応答 1節 植物の生活と植物ホルモン 2節 発芽の調節 3節 成長の調節 4節 器官の分化と花芽形成の調節 5節 環境の変化に対する応答 6節 配偶子形成と受精	問題演習 単元小テスト 発芽時の胚の観察実験 問題演習 シロイヌナズナの花の解剖実験

後期中間	第5編 生態と環境 7章 生物群集と生態系 <ul style="list-style-type: none"> <li>1節 個体群の構造と性質</li> <li>2節 個体群内の個体間の関係</li> <li>3節 異なる種の個体群間の関係</li> <li>4節 生態系の物質生産と物質循環</li> <li>5節 生態系と人間生活</li> </ul>	単元小テスト  問題演習
学年末	問題演習(パックV)	問題演習 確認テスト(考査相当)

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
生物基礎演習	2	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	”既習の生物基礎の内容について、問題演習を通じて単元ごとの基礎学力の定着をはかり、大学入学共通テストに向けて問題の読解力や基本事項を用いた応用力の向上を目指す。			
使用教材	教科書「生物基礎」(数研出版) 問題集「新課程 つかむ生物基礎」(浜島書店) 問題集「2025 共通テスト実践問題パックⅤ生物」(駿台文庫) 参考書「三訂版 フォトサイエンス 生物図録」(数研出版)			
定期考査の実施	前期中間 ( ○ )	前期末 ( ○ )	後期中間 ( ○ )	学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
実験観察レポート		○	○
小テスト	○		
演習課題			○

指導計画

時期	単元	活動
前期中間	第1編 生物の特徴 1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 エネルギーと代謝 3節 呼吸と光合成 2章 遺伝子とそのはたらき 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報の複製と分配 3節 遺伝情報の発現	問題演習 単元小テスト ミクロメーターを用いた観察実験 問題演習 単元小テスト
前期末	第2編 ヒトの体内環境の維持 3章 ヒトの体内環境の維持 1節 体内での情報伝達と調節 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫のはたらき 第3編 生物の多様性と生態系 4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 2節 植生の分布とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全	問題演習 単元小テスト 問題演習 単元小テスト
後期中間	問題演習(共通テスト対策)	小テスト 問題演習
学年末	問題演習(パックⅤ)	問題演習 確認テスト(考査相当)

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
地学基礎演習	2	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	地学基礎の既習内容を問題形式で復習するとともに、受験対策の演習を行う。 共通テストを主な目的とした試験の形式に慣れ、実践力をつける。
使用教材	「教科書」 地学基礎 改訂版 (啓林館) 「問題集」 チェック&演習 地学基礎 (数研出版)
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( × ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( × )

評価の方法 授業内実施のテスト、課題提出等により評価する。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業内テスト	○	○	
課題提出	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	総復習と問題演習
	5	遠足	第1部 固体地球とその活動 第1章 地球 第2章 活動する地球
	6	前期中間考査・球技大会	第2部 大気と海洋 第1章 大気の構造 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 第3章 日本の天気
	7	実力テスト・夏季進学補習	総復習と問題演習
	8	夏課題確認テスト	第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生 第2章 地球と生命の進化 第3章 地球史の読み方 第4部 自然との共生
	9	文化祭・前期期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	過去問等問題演習
	11	実力テスト	
	12	後期中間考査・冬季進学補習	PACKV 問題演習
	1	学年末考査	
	2		
3	卒業式		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (保健体育科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
体育	2	3	両学科両コース共通	必修

科目の目標	(1) 種目の特性を理解し、運動することを楽しむ (2) 学習の決まりを守る (3) 積極的に行動し、仲間と協力して楽しんで学習する (4) 体力向上を図る (5) 計画的に意欲を持って運動する態度を養う (6) 生涯スポーツに役立つ技能と知識を習得する
使用教材	大修館書店 現代高等保健体育
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( × ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本練習・発展練習	○		
試合方法の把握		○	○
ゲーム評価	○	○	○
振り返りシート	○	○	○
授業内の態度			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		※施設の都合上以下の種目を年間通して講座ごとにローテーションで実施し、調整しながら活動していく。
	5	遠足	
	6	前期中間考査・球技大会	新体力テスト
	7	実力テスト・夏季進学補習	体づくり運動
	8	夏課題確認テスト	バレーボール
	9	文化祭・前期末考査	バスケットボール
後期	10	秋季休業・体育祭	ソフトボール
	11	実力テスト	ダンス
	12	後期中間考査・冬季進学補習	マット運動
	1	学年末考査	バドミントン
	2		陸上
	3	卒業式	サッカー テニス

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (保健体育科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
体育演習	2	3	普通科人文・社会科学コース	必修

科目の目標	(1) 種目の特性を理解し、運動することを楽しむ (2) 学習の決まりを守る (3) 積極的に行動し、仲間と協力して楽しんで学習する (4) 体力向上を図る (5) 計画的に意欲を持って運動する態度を養う (6) 生涯スポーツに役立つ技能と知識を習得する
使用教材	大修館書店 現代高等保健体育
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( × ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本練習・発展練習	○		
試合方法の把握		○	○
ゲーム評価	○	○	○
振り返りシート	○	○	○
授業内の態度			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		※施設の都合上以下の種目を年間通して講座ごとにローテーションで実施し、調整しながら活動していく。
	5	遠足	
	6	前期中間考査・球技大会	新体力テスト
	7	実力テスト・夏季進学補習	体づくり運動
	8	夏課題確認テスト	バレーボール
	9	文化祭・前期末考査	バスケットボール
後期	10	秋季休業・体育祭	ソフトボール
	11	実力テスト	ダンス
	12	後期中間考査・冬季進学補習	マット運動
	1	学年末考査	バドミントン
	2		陸上
	3	卒業式	サッカー テニス

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (芸術科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
音楽演習	2	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	音楽の幅広い活動を主体的・協働的に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
使用教材	MOUSA 2 (教芸)
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( × ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実技テスト	○	○	○
提出課題	○	○	○
振り返りシート		○	○

指導計画

前期	4, 5, 6, 7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・自由演奏練習 練習</li> <li>中間発表</li> <li>発表会</li> <li>鑑賞会</li> </ul>
	夏季休 8, 9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽(ピアノ, ハンドベル等)</li> <li>・リズムアンサンブル</li> </ul>
後期	10, 11, 12 月 1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞 (舞台芸術, 日本音楽, 西洋音楽, その他のジャンル)</li> <li>・創作</li> <li>・器楽発表</li> </ul>

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (芸術科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
美術演習	2	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
使用教材	教科書「高校生の美術2」(日本文教出版)
定期考査の実施	前期中間 ( × ) 前期末 ( × ) 後期中間 ( × ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実技	○	○	○
鑑賞	○	○	○
夏季休暇レポート		○	○
制作レポート	○	○	○

指導計画

前期	4月	オリエンテーション
	5~7月	① 没食子インクと葦ペン作りと風景スケッチ
		② 版画を使った「カレンダー」制作 (複合技法) グループでテーマや構成を考え、銅版、紙版、コラグラフ等の様々な版画技法によるカレンダー制作をする。
	夏季休	③ 鑑賞レポート(宿題)
8月	④ 絵画の役割と写真の発明(鑑賞)	
	9月	⑤ 鉛筆デッサン
後期	10~11月	⑥ 質感を捉えて描く「静物画」を油絵で制作する。
	12月	⑦ サイアノタイプで「クリスマスカード」制作。(写真表現)

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (芸術科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
工芸演習	2	3	両学科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	工芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。
使用教材	独自課題
定期考査の実施	なし

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実技	○	○	○
鑑賞		○	○
振り返りシート	○	○	○

指導計画

- \*ステンドグラスの技法を使った飾り鏡の制作
- \*ハレの日の料理を盛る大きな陶器の制作
- \*プラスチックと金属を使ったペーパーナイフの制作
- \*錫の鋳造と鍛造による器の制作

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
英語コミュニケーションⅢ	4	3	普通科両コース共通	必修

科目の目標	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能を総合的に伸長させる。特に、より正確で深い英文読解ができる能力を養う。
使用教材	Revised ELEMENT English Communication Ⅲ(啓林館) ELEMENT English CommunicationⅢサブノート(啓林館) システム英単語 5訂版(駿台文庫) Hyper Listening Intermediate 4th edition(桐原書店) 2026 大学入試共通テスト英語リーディング対策 Reach 40(美誠社) 2026 大学入試共通テスト英語リーディング対策 Reach Listening 30(美誠社) NEO 現代を読む Standard [3rd Edition](いっぴぐな書店)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	
振り返りシート			○

指導計画

期	ELEMENT	現代を読む	パフォーマンステスト
前期	中間 L1 Energy L2 Environment and Life L3 Health and Life	テーマ1 歴史 (Unit 1, 2, 3) テーマ2 言語 (Unit 4, 5) テーマ3 教育 (Unit 6, 7, 8)	ELEMENT に関連した内容 2回
	期末 L4 Humans and Technology L5 Diversity L6 Education	テーマ3 教育 (Unit 6, 7, 8) テーマ4 文化 (Unit 9, 10) テーマ5 生活 (Unit 11, 12)	ELEMENT に関連した内容 2回
後期	中間 L7 Miracles of Nature L8 Sustainable Development L9 Art and Heart	テーマ6 社会 (Unit 13, 14) テーマ7 自然 (Unit 15, 16, 17)	ELEMENT に関連した内容 2回
	特別時間割 L10 Human Relationships	テーマ8 科学 (Unit 18, 19)	ELEMENT に関連した内容 1回

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
Academic English	4	3	アカデミア科両コース共通	必修

科目の目標	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能を総合的に伸長させる。特に、より正確で深い英文読解ができる能力を養う。
使用教材	Revised ELEMENT English Communication III(啓林館) ELEMENT English CommunicationIIIサブノート(啓林館) システム英単語 5訂版(駿台文庫) Hyper Listening Intermediate 4th edition(桐原書店) 2026 大学入試共通テスト英語リーディング対策 Reach 40(美誠社) 2026 大学入試共通テスト英語リーディング対策 Reach Listening 30(美誠社) NEO 現代を読む Standard [3rd Edition](いっぴぐな書店)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パフォーマンス課題		○	
振り返りシート			○

指導計画

期	ELEMENT	現代を読む	パフォーマンステスト
前期	中間 L1 Energy L2 Environment and Life L3 Health and Life	テーマ1 歴史 (Unit 1,2,3) テーマ2 言語 (Unit 4,5) テーマ3 教育 (Unit 6,7,8)	ELEMENT に関連した内容2回
	期末 L4 Humans and Technology L5 Diversity L6 Education	テーマ3 教育 (Unit 6,7,8) テーマ4 文化 (Unit 9,10) テーマ5 生活 (Unit 11,12)	ELEMENT に関連した内容2回
後期	中間 L7 Miracles of Nature L8 Sustainable Development L9 Art and Heart	テーマ6 社会 (Unit 13,14) テーマ7 自然 (Unit 15,16,17)	ELEMENT に関連した内容2回
	特別時間割 L10 Human Relationships	テーマ8 科学 (Unit 18,19)	ELEMENT に関連した内容1回

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
論理・表現Ⅲ	2	3	普通科両コース共通	必修

科目の目標	(1) 実際の会話や英作文に役立つ語彙、表現、文法事項を活用して、与えられた場面や状況に応じて適切で正確な英文を書くことができる。 (2) 伝えたい内容を整理して、論理的な英文を書くことができる。 (3) 表現活動を通して積極的にコミュニケーションを図ることができる。
使用教材	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ(啓林館) 四訂版 入試必携英作文 Write to the Point (数研出版) Ultimate (啓林館) 英文法・語法 Vintage 4th Edition(いいずな)
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (○) 学年末 (×)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パラグラフライティング課題	○	○	○
Vintage テスト	○	○	
振り返りシート			○

指導計画

実施	行事等	指導計画	詳細
4月		Write to the Point 1~2章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 1/2	Paragraph Writing
5月		Write to the Point 3~5章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 3/4/5	Paragraph Writing
6月	前期中間考査	Write to the Point 6~8章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 6/7	Paragraph Writing
7月		Write to the Point 9章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 8/9/10	Paragraph Writing
8月	夏季休業		
9月	文化祭・前期末考査	Write to the Point 10~11章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 11/12	Paragraph Writing
10月	秋季休業・体育祭	Write to the Point 12~13章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 13/14	Paragraph Writing
11月		Write to the Point 14~16章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 15/16/17	Paragraph Writing
12月	後期中間考査	Write to the Point 17章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 18/19/20	Paragraph Writing
1月	学年末考査	Write to the Point 18章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		Writing Practice	入試過去問演習

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
Advanced Expression Skills	2	3	アカデミア科両コース共通	必修

科目の目標	(1) 実際の会話や英作文に役立つ語彙、表現、文法事項を活用して、与えられた場面や状況に応じて適切で正確な英文を書くことができる。 (2) 伝えたい内容を整理して、論理的な英文のエッセイ(小論文)を書くことができる。 (3) 表現活動を通して積極的にコミュニケーションを図ることができる。
使用教材	VISION QUEST Logic and Expression III (三省堂) 四訂版 入試必携英作文 Write to the Point (数研出版) Ultimate (啓林館) 英文法・語法 Vintage 4th Edition(いいずな)
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (○) 学年末 (×)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
パラグラフライティング課題	○	○	○
Vintage テスト	○	○	
振り返りシート			○

指導計画

実施	行事等	指導計画	詳細
4月		Write to the Point 1~2章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 1/2	Paragraph Writing
5月		Write to the Point 3~5章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 3/4/5	Paragraph Writing
6月	前期中間考査	Write to the Point 6~8章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 6/7	Paragraph Writing
7月		Write to the Point 9章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 8/9/10	Paragraph Writing
8月	夏季休業		
9月	文化祭・前期末考査	Write to the Point 10~11章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 11/12	Paragraph Writing
10月	秋季休業・体育祭	Write to the Point 12~13章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 13/14	Paragraph Writing
11月		Write to the Point 14~16章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 15/16/17	Paragraph Writing
12月	後期中間考査	Write to the Point 17章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		VISION QUEST Lesson 18/19/20	Paragraph Writing
1月	学年末考査	Write to the Point 18章 ExA	テキスト問題演習・応用問題
		Writing Practice	入試過去問演習

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
英語演習	2	3	普通科人文・社会科学コース	選択

科目の目標	様々なテーマを扱った長文読解や文法・語法の実践的問題演習を行い、大学入試に対応できる英語力を総合的に身につける。
使用教材	Grammar Collection Full Version(いっぴな書店) シグマベスト英語長文演習シリーズ SWITCH 4 New Edition(文英堂)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
振り返りシート			○

指導計画

期	月	主な行事予定	単元予定	
			Grammar Collection	シグマベスト 英語長文演習
前期	4		1. 時制	Unit 1, 2
	5	遠足・実力テスト	2. 受動態 3. 助動詞 4. 仮定法	Unit 3, 4, 5,
	6	前期中間考査・GTEC	5. 不定詞 6. 動名詞 7. 分詞 8. 9. 動詞の語法 ①, ②	Unit 6, 7, 8,
	7	実力テスト・夏季進学補習	8. 動詞の語法①	Unit 9
	8	夏季休業	(夏課題 12. 前置詞 18. 主語と述語動詞の一致 19. 疑問文 20. 否定・倒置・省略・強調) 9. 動詞の語法②	Unit 10
	9	文化祭・前期末考査	10. 関係詞	Unit 11, 12
後期	10	秋季休業・体育祭	11. 接続詞 13. 形容詞の語法	Unit 13, 14
	11		14. 副詞の語法 15. 比較 16. 名詞の語法 17. 代名詞の語法	Unit 15, 16, 17
	12	後期中間考査・冬季進学補習	Review 1-5	Unit 18, 19
	1	学年末考査	Review 6, 7	Unit 20
	2			
	3	卒業式		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
英語演習	2	3	アカデミア科 人文・社会科学コース	選択

科目の目標	様々なテーマを扱った長文読解や文法・語法の実践的問題演習を行い、大学入試に対応できる英語力を総合的に身につける。
使用教材	Grammar Collection Full Version(いっぴな書店) シグマベスト英語長文演習シリーズ SWITCH 4 New Edition(文英堂)
定期考査の実施	前期中間 ( ○ ) 前期末 ( ○ ) 後期中間 ( ○ ) 学年末 ( × )

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
振り返りシート			○

指導計画

期	月	主な行事予定	単元予定	
			Grammar Collection	シグマベスト 英語長文演習
前期	4		1. 時制	Unit 1, 2
	5	遠足・実力テスト	2. 受動態 3. 助動詞 4. 仮定法	Unit 3, 4, 5,
	6	前期中間考査・GTEC	5. 不定詞 6. 動名詞 7. 分詞 8. 9. 動詞の語法 ①, ②	Unit 6, 7, 8,
	7	実力テスト・夏季進学補習	8. 動詞の語法①	Unit 9
	8	夏季休業	(夏課題 12. 前置詞 18. 主語と述語動詞の一致 19. 疑問文 20. 否定・倒置・省略・強調) 9. 動詞の語法②	Unit 10
	9	文化祭・前期末考査	10. 関係詞	Unit 11, 12
後期	10	秋季休業・体育祭	11. 接続詞 13. 形容詞の語法	Unit 13, 14
	11		14. 副詞の語法 15. 比較 16. 名詞の語法 17. 代名詞の語法	Unit 15, 16, 17
	12	後期中間考査・冬季進学補習	Review 1-5	Unit 18
	1	学年末考査	Review 6, 7	Unit 19
	2			
	3	卒業式		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画（家庭科）

<b>保育基礎</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>両学科人文・社会科学コース</b>	<b>選択</b>
-------------	----------	----------	----------------------	-----------

科目の目標	子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。近隣の認定こども園や幼稚園での実習を通じて、子どもの発達の特徴を理解し、子どもの生活と保育などに関する知識と技術を習得する。また、子どもの育つ環境について、深く考察する力をつける。
使用教材	教科書 教育図書 保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ 副教材 保育基礎ワークノート
定期考査の実施	前期中間（ × ） 前期末（ × ） 後期中間（ × ） 学年末（ × ）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小テスト	○	○	
ワークノート	○	○	○
保育実習実技			○
保育実習レポート		○	
調理実習レポート	○	○	○

指導計画

期	授業計画	備考
前期	オリエンテーション ・1章 子どもの保育 ・2章 子どもの発達 ・3章 子どもの生活 小テスト1（6月上旬） 6月中旬 今宮幼稚園訪問実習 1回目（絵本の読み聞かせ） 7月上旬 待鳳認定こども園訪問実習 1回目（絵本の読み聞かせ） 調理実習 1回目 具だくさんフォーうどん オレンジゼリー 2回目 小松菜とじゃこのおやき 豆腐ハンバーグ 白玉フルーツ 映像学習 映画「そして、父になる」 主演：福山雅治	・今宮幼稚園、待鳳認定こども園への訪問実習は、それぞれ2回ずつ行います。担当する幼児の発達の様子を講義で学び、事前に絵本を選び、読み聞かせを行ったり、子どもの発達を促す手作りおもちゃを作製して、一緒に遊んだりします。
	・4章 子どもの福祉 ・5章 子どもの文化 小テスト2（11月下旬） 11月中旬 今宮幼稚園訪問実習 2回目（手作りおもちゃで子どもと遊ぶ） 12月中旬 待鳳認定こども園訪問実習 2回目 （手作りおもちゃで子どもと遊ぶ） 調理実習 3回目 お子様ピラフ コーンチャウダースープ さつまいもの団子 映像学習 映画「うさぎ、ドロップ」 主演：松山ケンイチ	
後期		・2回の小テストは授業内に定期考査に準じた形で行います。

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (情報科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
情報演習	2	3	両学科両コース共通	選択

科目の目標	第1学年「情報Ⅰ」における学習内容を基礎とした発展的・実践的な演習を通して、「情報デザイン」、「プログラミング」、「データの分析」などを手法とした「問題解決」について学び、社会や身近な生活の中の題材および既知でないものも含めた資料等に示された事例や事象について、情報社会と人との関わりや、情報の科学的な理解を基に考察する力を身につける。
使用教材	教科書『高等学校 情報Ⅰ』（数研出版） 副教材『大学入学共通テスト対策問題集 情報Ⅰ 改訂版 with AI Smart Lecture』（啓林館） 副教材『2027-共通テスト実戦問題パックⅤ情報Ⅰ』（駿台文庫）
定期考査の実施	前期中間（○） 前期末（○） 後期中間（○） 学年末（×）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
提出課題	○	○	○

指導計画

時期	主な行事予定	単元予定
前期	4月	第1部 情報社会の問題解決
	5月	遠足
	6月	前期中間考査・球技大会
	7月	夏季進学補習
	8月	夏季休業
	9月	文化祭・前期末考査
後期	10月	第2部 情報デザイン
	11月	学校推薦型選抜
	12月	第3部 コンピュータとデジタル化
	1月	第4部 プログラミング
	2月	第5部 情報通信ネットワーク
	3月	第6部 データの活用
	秋季休業・体育祭・総合型選抜	※11月以降は、問題演習（パックⅤ等）を中心に進める。
	後期中間考査・冬季進学補習	
	大学入学共通テスト	
	一般選抜	
	卒業式	

★一部、「情報Ⅱ」の内容を含みます。